

番号	項目 A：あてはまる B：どちらかといえば、あてはまる C：どちらかといえば、あてはまらない D：あてはまらない	評価				今年度 A, Bの割合	昨年 割合	昨年 比
		A	B	C	D			
1	子どもは、朝食を毎日食べている。	16	0	0	0	100%	100%	
2	子どもは、学校での出来事について話をしている。	9	4	3	0	81%	100%	▼
3	子どもは、宿題を言われなくてもきちんとしている。	6	6	3	1	75%	73%	○
4	子どもは、学習用具などの忘れ物をしていない。	4	9	3	0	81%	53%	○
5	子どもは、家で手伝いをしている。	2	6	8	0	50%	53%	○
6	子どもは、きちんと挨拶をしている。	9	5	2	0	87%	87%	
7	子どもは、途中で投げ出さず最後までやろうとしている。	5	7	4	0	75%	67%	○
8	学校は、「よくわかる授業」の実践に努めている。	7	9	0	0	100%	100%	
9	学校は、児童の安全面によく配慮し、事故防止に努めている。	10	6	0	0	100%	100%	
10	学校は、校舎内外の環境整備に努めている。	13	1	2	0	87%	100%	▼
11	学校は、お便り等で日々の教育活動をわかりやすく伝えている。	11	5	0	0	100%	100%	
12	学校は、保護者からの連絡に誠意を持って対応している。	13	3	0	0	100%	100%	
13	学校は、授業や行事などいつでも参観しやすい環境にしている。	12	4	0	0	100%	100%	
14	P T A活動は、子どもたちのために積極的な活動を行っている。	9	6	1	0	93%	93%	
15	P T A活動は、参加しやすい雰囲気や態勢を整えている。	8	7	1	0	93%	100%	▼

課題	具体的取組
2 学校での出来事を話さない子がいる	年齢によって話したくない頃もある。学校日より、ホームページをもとに話し合うきっかけを作る。話したくなるような楽しい活動を行う。
3 言われないと宿題をしない子がいる	声かけをしなくてもできたときに褒めてもらう。自分から「する」と思うようにするための教師からの手立て。夜、どんなことをしたのかチェックする。必要性を伝えていく。
5 家での手伝いをしない子がいる	学校でも進んでお手伝いできる心を育てたい。お手伝いのルールを決める。夏休みの取組からも継続していけるような仕掛けしていく。各家庭でお手伝いを考え決めて、提示する。学校における勤労奉仕の活動を重視させ、自己肯定、有用感を与えていく。
7 子どもは、途中で投げ出さず最後までやろうとしている。	やる気の出る声かけを行う。励ましの言葉かけ。頑張りを可視化し、自己肯定感を高める。時間や環境の整備を。
10 校舎内外の環境整備	草刈り？山口さんといっしょに、計画的に準備をする。チャレンジタイムを利用して、取り組むようにしても良いのでは。（月1回の除草作業）どこを具体的に整備して欲しいのか。
15 PTA活動	役員のみなさんと相談する。人数が少ない分、負担も大きくなる。回数を調整して、内容を充実させる。